

プラスチックごみの削減に向けた取り組みに関するアンケート調査結果

- アンケート対象者：令和4年度アンケート対象者
- 実施日程：令和5年1月20日発送、令和5年2月6日締切
- 件数等：送付57件、返答39件、回答率68.4%

Q1 プラスチック問題についてあなたの関心や取組状況で最も近いものをお選びください。（※単一選択）

ア 関心があり、プラスチック問題の解決につながる取組みをしている	25件	64.1%
イ 関心はないが、プラスチック問題の解決につながる取組みをしている	0件	0.0%
ウ 関心はあるが、プラスチック問題の解決につながる取組みができていない	10件	25.6%
エ 関心がないので、今後もプラスチック問題の解決につながる取組みをするつもりがない	0件	0.0%
オ 以前は取り組んでいたがやめてしまった	0件	0.0%
— 未回答	4件	10.3%
	39件	

Q2 Q1で『ウ～オ』を選択した方に伺います。

現在、プラスチック問題の解決につながる取組みができていない(するつもりはない)に理由として最も近いものをお選びください。（※単一選択）

ア 取り組む必要性が分からない	0件	0.0%
イ 取り組む方法が分からない	4件	40.0%
ウ 生活の中で取り組む時間がない	3件	30.0%
エ 手間がかかる	0件	0.0%
オ その他	2件	20.0%
— 未回答	1件	10.0%
	10件	

【その他内容】

- ・ そもそも消費者よりも企業の取組みのほうが大事だと思うし効果があると思う。
- ・ 具体例を知りたい。

Q3 あなたが『取り組んでいる』または『これなら取り組める』と思う、

プラスチック問題の解決につながる取組みをお選びください。（※複数選択可）

		回答比率
ア マイバッグを使いレジ袋をもらわない	36件	97.3%
イ マイボトルを使いペットボトルの使用を減らす	25件	67.6%
ウ 使い捨てとなるプラスチック製のストロー・スプーン・フォークなどをもらわない	24件	64.9%
エ プラスチック製以外の代替素材の製品を購入する	10件	27.0%
オ 包装(プラスチック)の少ない量り売りやバラ売りの商品を選ぶ	10件	27.0%
カ プラスチック問題の解決に積極的に取組むお店を選ぶ	4件	10.8%
キ ごみと資源物をきちんと分別して排出する	32件	86.5%
ク 取り組めることがない	1件	2.7%
ケ その他	1件	2.7%
— 未回答	3件	8.1%

【その他内容】

- ・ 社会主義革命に向けた運動。なぜならプラ対策というより『ア～エ』は便利だから取り組んでいる。何より資本主義社会の生産関係が問題の根底にあるので、(例えば石油採掘がやめられるのか、エントロピーの増大をゆるめることができるのか)革命を追求することが必要条件であるため。

Q4 あなたは、マイバッグを持って買い物をしていますか。(※単一選択)

ア マイバッグを持って買い物をしている	34件	87.2%
イ マイバッグを持っていないが、レジ袋などを購入せずに買い物をしている	2件	5.1%
ウ マイバッグを持っていないので、レジ袋を購入して買い物をしている	0件	0.0%
— 未回答	3件	7.7%
	39件	

Q5 『プラスチック問題』についてご意見があればご記入ください。

- ・ マイバッグも良いが、結局ごみ袋用に別途プラ袋を買うので、意味がないと思いながらマイバッグを使っている。
製品の過剰包装を無くしてほしい。
- ・ 基本的に使い捨てのプラスチックは使用しない。
ただし、スーパーで買い物をすると多くのプラスチックトレイを排出するため、プラスチックごみの量が増加してしまう。
プラスチックごみは大きいものは洗って出し、小さくて洗うのが難しいものは可燃ごみとして出している。
- ・ 軽くて強くて衛生的なので使いやすく、無くならないと思う。
しかし、後処理で正規に回収されなかったものが環境に大きな負荷をかけており、マイクロプラスチックになったものは、海洋生物を経て、人間にも長期的な悪影響を及ぼすことも納得できる。
従って、必ず回収することが使う方にとって守るべきことになる。それとリサイクル技術の開発に力を注ぐべき。
大きな方向としては、後処理の手段が確立していない新物質は使うべきでない。最たるものは原子力発電所。
- ・ スーパーの肉や魚に使用しているトレイが無くなるとういですね。
- ・ ストローやスプーン等身近でアピールし易い物ばかり目を向けているようですが、もっと大きなプラスチック製品、建材、太陽光発電設備の将来発生するプラスチックの廃材等には目をつぶっているように感じます。
- ・ マイクロプラスチックの問題とかを報道で見るたびに自分もちゃんと考えて行動しなければいけないと思う。
ただ、日々の生活の中ではその意識が薄れ、目先の損得なんかもあり、満足できるレベルではないと感じる。
一気に変わることは難しいかもしれないが、政・財・官それぞれが、また、連携を続けていく(いままでも・これからも)しかない。
広報などでほかの自治体(日本/世界)での好事例などがあったら教えてほしい。
- ・ 汚れを落とすことが大変なので、可燃ごみに入れることがある。
- ・ ごみを回収するエリア広範囲すぎる(※利用する家の数が多すぎる)。『分別』や『洗淨』の解釈が人によって違う。
洗わず、食品が混入していてもプラスチックごみとして捨てている人がいる。もっと町からも発信してほしい。
子どもたちにも理解できるように教育を取り入れてほしい。
- ・ 海の町全体の掃除の回数を増やすことができればいいと思う。
- ・ プラスチック製品があふれる状況で、個人でできることに限界を感じる。行政が主体的となり、大胆な改革を希望する。
- ・ 今後も協力していきたい。
- ・ あまりにも便利なプラスチックの生活に慣れてしまって、プラスチックごみの多さに何とかしなければと思う。
包装材が多すぎると思う。
- ・ レジ袋が安価で販売されて使用する機会が増えた。
販売されているレジ袋が生分解されるものかは不明だが、そうあってほしい。
- ・ 消費のためのプラスチック(ビニール袋などの包装)を避けるようになった。
プラスチック自体が悪い訳ではない(プラスチック容器など軽くて丈夫)ので、プラスチックと適切に付き合いたいと思う。
- ・ スーパーなどで買い物をしても、家に帰ればごみになって捨てるだけなので、もっと量り売りやプラスチック包装されていないものが気軽に購入できるようになりたいと思う。
スーパーのごみを捨てている所にはお肉のプラスチックトレイなど、買ってすぐ捨てたようなごみをよく見かけます。
ペットボトルは本当になくなればいいと思います。マイボトルが普及すると500mlペットボトルなどの小分けで購入する必要もなくなってくると思う。

- ・ 資本主義社会における生産関係の法則を踏まえて、『プラスチック問題』も含めた『環境問題』一般について、解決に向けた可能性と不可能性を行政としての責任を持って考えてほしい。

マイバッグ、レジ袋についてだけいくら議論しても石油製品作られつづけ、そうせざるを得ない社会関係を前提とする以上は、それを『環境』へ廃棄せざるを得ないのは当たり前ではないか。

ある特定小部分だけを切り取って「益」があるように見せることは、全体からすると問題の本質から目を背けさせる議論だと思う。